

外国人観光客を呼び込むには？ 海外経済セミナー（観光分野）を開催！

（財）自治体国際化協会交流支援部経済交流課

2013年に初めて1,000万人を超えた訪日外国人数は、昨年1,300万人を超え、著しく増加しています。また、円安、ビザ要件の緩和、2020年のオリンピック・パラリンピック開催決定などの効果で、今後も海外から日本への観光客のさらなる増加が期待されています。そうした中、訪日観光客を呼び込むため、各自治体ではより効果的なインバウンド戦略を求められています。

クレアでは、そのような自治体に役立つタイムリーな情報を自治体職員などの方々へ提供するため、セミナー開催やホームページ・メールマガジンによる情報発信などを行っています。そこで、今回は、去る2月6日にル・ポール麹町で開催したセミナーについてご紹介いたします。本セミナーには、57団体から78人の参加がありました。当日は、3人の講師からそれぞれ講演をいただき、参加者の皆さんも熱心に聞き入っていました。以下に、講演内容をごく簡単にですが、紹介いたします。



セミナーの様子

訪日外国人観光客の現状

株やまところ代表取締役 村山 慶輔氏

村山氏からは、まず外国人目線の大切さと「口コミ」の大切さについて、事例も交えてお話がありました。また、日本の訪日外国人観光客の現状や外国人向けの免税制度などについての説明がありました。さらに、現在および今後の動きとして、旅行スタイルが団体旅行から個人旅行にシフトしていること、そして個人のニーズが多様化している現状の説明があり、そんな中で、有名な一部の地域だけでなく、地方にも関心が高まっているというお話をいただきました。

地方での外国人観光客の取り組み事例について紹介いただき、「地方の日常にも観光資源がある!」、「過疎化の村でも観光客は呼べる!!」とお話いただいたことは、地方自治体職員にとっては大変心強いものだったと思います。また、現状を把握し評価すること、「やる気のある人」が「やれること」からはじめて成功事例を作り、それを共有して全体を巻き込むことが必要だといったお話も、これからの各自治体での取り組みに役立てていただけるのではないかと思います。

インバウンドの取り組み報告と 今後の展望について

商店街振興組合原宿表参道^{けやき} 榎会事務局

インバウンド担当 中島 圭一氏

中島氏からは、原宿表参道榎会のインバウンドの取り組みについて、今まさに進行している事業の内容とそこで発生している課題・改善点なども含めて、具体的な説明をしていただきました。そ

の中で、ほかから見れば、地域のネームバリューだけで放っておいても人は集まるのではないか、と思える原宿表参道地域の商店街であっても、外国人観光客を呼び込むために非常に細やかな努力を行っているということが、よく分かりました。さらに、東京のほかのエリア、そして東京がハブとなって地方の商店街とも連携して、海外への情報発信を進めていく予定である、という説明もありました。出席者からは「ヒントが多く、分かりやすい説明で秀逸」、「理由・反省点など細かい内容まで語ってくれるのでとても分かりやすかった」といったさまざまな感想が寄せられました。

外国人観光客の消費実態と対策

レジャーサービス研究所 所長 斎藤 茂一氏

斎藤氏からは、中国人富裕層を中心に、多くの観光客や旅行関係者と関わってこられた経験をもとに、旅行・消費の動向から、接客現場での具体的な商品の売り方まで講演をいただきました。

その中で、ビザ緩和などで旅行客が増える一方、これから新たに来日する人々はこれまでのような「日本好き」だけではなくなっていることから、満足度は下がっていくといった話題や、日本側の受け入れ体制の不足からほかの国に観光客が流れてしまうといった状況をご説明いただきました。また、どうやって外国人の消費動向を知って売り込んでいくか、という事例や「高級品を積極的に薦めることは失礼ではない」といったことなど、来日した観光客に地元の産品を売るための具体的なヒントが数多くありました。



斎藤氏による講演の様子

今回、参加された皆さまにアンケートをとったところ、「地元で外国人観光客の増加を実感しているか」との問いに対し「実感している」との答えが回答者の約60%だった一方、「地元の外国人観光客の受け入れ体制は整っているか」との質問には「不十分」との回答が約85%にのぼり、「地方にも訪日外国人観光客は増えてきているが、受け入れ側の準備ができていない」との思いを多くの自治体が持っているということを改めて感じました。

クリアでは、これからもそんな自治体の皆さまに有意義な情報を提供できるよう努めてまいります。今年度についても、観光分野と物産分野の海外経済セミナーを開催する予定ですので、是非ご期待ください。

☆本セミナーの資料はクリアホームページでご覧いただけます。

<http://www.clair.or.jp/j/economy/seminar/page-1.html>

☆インバウンドの取り組み事例などをご紹介する「クリア・インバウンドライブラリー」を立ち上げ、メールマガジンの配信も行っております。ぜひご覧ください。

<http://clair-inbound.net/>